

編集後記

『国際経営論集』第36号をみなさまにお届けします。本号は、研究論文10本、研究ノート3本、合計13本の論稿を載せることができました。紙型を大型化し、投稿論文の字数枠を増やしてきましたが、今号には重厚大部な論稿を何篇か掲載することができました。これもみなさまがたの日ごろのたゆまぬ研鑽の成果ならびに本論集へのご協力の賜物と考えます。記して感謝の意を表します。ありがとうございました。

前号の編集後記に記したように、本学部の教員スタッフは兼任講師の先生方を含めると、じつにさまざまな研究分野の出身者から構成されています。国際経営という領域の広がりや深度がそれを要請すると考えられるわけであり、スタッフの数において専門領域のディシプリンも多様性をもつということになります。そのことが逆に、これまで本論集の規約整備をやや後回しにせざるをえなかった事情を生みだしていたと考えられます。

しかし、さいわいなことに、このたび『国際経営論集』の投稿規定が学部教授会の了解のもとにまとまりました。本号の末尾に掲載されている投稿規定がそれです。その規定の多くは、これまで論集を編纂するごとに投稿募集の際に案内されてきた事項やその時々新たに付け加えられたことであり、ここに改めて投稿規定として明文化しました。今後は、この投稿規定により編集の事務処理が統一化され、また必要であれば規定を修正・加除したうえでよりよい編集事務がなされるものと期待されます。また、投稿規定と同時に、投稿原稿のガイドラインも呈示されました。これは規定ほどの拘束性はもちませんが、論集体裁上の整備に向けた一指針です。いくたびかの試行を経たうえで、ガイドラインのうち合意できるものは投稿規定細則として規約化していくことが望まれます。みなさまのご協力をお願いします。

本学部が理学部とともに立地する神奈川大学

湘南ひらつかキャンパスは、開設20周年を迎えます。これまで『国際経営論集』では専任教員の定年退職記念号を組むことはあっても、学部としての特集記念号を組むことはありませんでした。20周年を機に、学部共通テーマによる特集号を編纂することも意義あることかと思われれます。その際には、みなさまのご賛同とご協力をお願いする次第です。

なお本号より、新垣公弥子に代わり林悦子が編集委員となりました。長年編集の労をとられた新垣先生には感謝申し上げます。

編集委員会（林 悦子・後藤 伸）

〈執筆者紹介（掲載順）〉

松 浦 春 樹	経営学部教授
林 悦 子	経営学部教授
丹 野 勲	経営学部教授
小 島 大 徳	経営学部准教授
大 田 博 樹	経営学部特任助教
田 育 誠	経営学部非常勤講師 吉林師範大学教授
奥 邨 弘 司	経営学部准教授
大森美紀彦	経営学部非常勤講師
木 村 章 男	経営学部准教授
浅 海 典 子	経営学部准教授
千 葉 義 信	経営学部非常勤講師
荒 井 義 則	経営学部非常勤講師

『国際経営論集』 第36号

無断禁転載

2008年10月31日 印刷

2008年10月31日 発行

発 行 神奈川大学経営学部

編 集 『国際経営論集』編集委員会

〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946

電 話 (0463) 59-4111

F A X (0463) 58-9688

制 作 株式会社 興版印刷

〒254-0076 神奈川県平塚市新町7-15

電 話 (0463) 32-1899

F A X (0463) 32-1865